



ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」に力を入れて取り組んでいます



(7)

2019年(令和元年) 9月26日(木曜日)

SDGs(持続可能な開発目標)は2015年9月の国連サミットにて全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成されるこの目標は、2000年に国連



SDGs (エスディージーズ)

を聞いたことはありますか?

第2-1回

群馬県立中央中等教育学校4年 三輪 明日香

サミットで採択された「MDGs(ミレニアム開発目標)」が2015年に達成期限を迎えたことを受けて新たに採択されたもので、途上国を中心とした目標であったMDGsと比べると、SDGsは21世紀の世界の課題をより包括的に挙げている点で大きく異なります。

そのようなMDGsの反省を踏まえて採択されたSDGsは「誰一人取り残さない」をスローガンとして掲げています。これは実際には救うべき人々のこととを指した言葉ですが、一方で私たち自身のこととして捉えることができます。私はSDGsの達成によって恩恵を受けるだけではなく、それと同時に一人一人がSDGsを実現に導く当事者なのではないでしょうか。

私が最も力を入れて取り組んできたのは、SDGsゴール5の「ジェンダー平等を実現しよう」です。実は、このアクションが、私がこのたび記事の寄稿を依頼していただいたことに大きく関わっています。本日は、4回の連載の第1回ということなので、私の自己紹介を兼ねてジェンダー平等についてお話ししたいと思います。

私が県内の中高一貫校に入学して、1年生の時から始めたのがHe For She(ヘフォーシェ)でのジェンダー研究です。He For She(ヘフォーシェ)は、UN Women(ユニバーサル・ウィメン)と女性のエンパワメントのための国連機関が2014年に立ち上げた、He For Sheキャンペーンに由来するもので、男性も女性も一緒にジェンダー平等に向けて行動していくことを理念に活動し

てきました。そのような中で、昨年の夏に、少年少女国連大使としてスイスのジュネーブとワイルピンのマニラを訪れてSDGsについて本格的に学ぶ機会を得て、SDGsゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」について行った国連欧州本部でのプレゼン発表では最優秀賞を受賞しました。帰国後には多くの場で発表の機会をいただき、現在もこのような形で啓発活動を行っておりま

さて、本題に戻りますが、ジェンダー平等と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。私は、これまでの研究の中で最も切迫しているのは、私たちの中に「当たり前」という意識です。なぜなら、ジェンダーとは生物学上の性差ではなく社会的、文化的に形作られ

た性差のことを言うからです。つまり、私たちの考えによって作られるものなのです。そのため、人によってイメージするジェンダー平等が達成された状態というのも異なりますし、場合によってはジェンダー不平等な状態が想像できないという人もいるかもしれません。それほど問題の定義づけが難しく、そのために解決や達成が非常に難しい課題なのです。

私は、これから連載するコラムを通して、SDGsの1目標でもあるジェンダーというトピックについて、少しでも皆さんに興味を持っていただき、皆さん自身の中に何か新たな意識を持つていただけたら幸いです。その小さな意識から、このSDGsの達成の道が開けるのではないかと思います。

性差のことを言うからです。つまり、私たちの考えによって作られるものなのです。そのため、人によってイメージするジェンダー平等が達成された状態というのも異なりますし、場合によってはジェンダー不平等な状態が想像できないという人もいるかもしれません。それほど問題の定義づけが難しく、そのために解決や達成が非常に難しい課題なのです。

私は、これから連載するコラムを通して、SDGsの1目標でもあるジェンダーというトピックについて、少しでも皆さんに興味を持っていただき、皆さん自身の中に何か新たな意識を持つていただけたら幸いです。その小さな意識から、このSDGsの達成の道が開けるのではないかと思います。

性差のことを言うからです。つまり、私たちの考えによって作られるものなのです。そのため、人によってイメージするジェンダー平等が達成された状態というのも異なりますし、場合によってはジェンダー不平等な状態が想像できないという人もいるかもしれません。それほど問題の定義づけが難しく、そのために解決や達成が非常に難しい課題なのです。

私は、これから連載するコラムを通して、SDGsの1目標でもあるジェンダーというトピックについて、少しでも皆さんに興味を持っていただき、皆さん自身の中に何か新たな意識を持つていただけたら幸いです。その小さな意識から、このSDGsの達成の道が開けるのではないかと思います。

○ SDGsの17の目標



○ 本校の中央ホールに掲示されているSDGsのロゴマーク



○ 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間

（中央中等の通称FEWCフューク）の内容の系統

- 1年 身近な地域とSDGs学習（ICT活用）
- 2年 群馬探究（統計資料活用能力）
- 3年 日本探究と世界学習（模擬国連・研究機関訪問）
- 4年 世界探究（イノベーション企業訪問）
- 5年 世界へ発信（イノベーション学習・海外フィールドワーク）
- 6年 現代探究（英語によるTED型プレゼンテーション）